



第53号

発行所
三軒屋駐屯地協力会
三軒屋駐屯地OB会

駐屯地創立69周年記念行事



岡山市の10月下旬の天候は、晴れ間がさせば熱く、曇ればすかさず雨が降っていた。10月19日（土）三軒屋駐屯地創立69周年記念行事は後者

続けて国際社会の緊迫した情勢によって軍事的圧力がさらに高まっていること、その上で「我が国の平和と独立を守る」という自衛隊の使命は

であった。式典の途中からは、蓋をするような雲で覆われた空から降る雨が隊員たちを濡らし続けた。そんな雨の中、今年も式典に国会議員、自治体首長の方々をはじめ、多くのご来賓のご臨席を賜るとともに、大勢の地域の方々にご来場いただいた。

駐屯地司令の石嶋2佐は式辞の冒頭で9月にあった能登半島の豪雨災害で被災された方々に哀悼の意を表したのち、このようなご来場を賜り挙行できることは所在隊員にとって誠に喜ばしく光栄であると述べた。



式辞中の石嶋2佐

より一層重要になってきており、自衛隊として防衛三文書に基づく防衛力整備を強力に進めるとともに、同盟国・同志国との共同訓練や能力構築支援等を通じた信頼醸成や訓練等によって抑止力を高め、各種事態に対してより実効性ある対処ができるよう訓練・業務等を通じて日々努力していることを説明。その後、第305施設隊の11月から始まる国外派遣（詳細4面）、大規模災害に対しての態勢にも触れた。



理大クリスタルコール部による混声合唱



雨の中、隊員たちは式典の始まりを待つ。

所存であります。」と決意を述べた。雨の中の記念行事に続き、厳しい気象条件下にもかかわらず第13音楽隊と岡山理科大学クリスタルコール部による演奏が行われ、来場者からは感嘆の声が上がった。



前列左より、大島様、駐屯地司令、古屋様

受賞者

- 前防衛モニター 小松原真由美 様
- 三野こども太鼓連 大島 唯志 様
- 三軒屋施設OB会 古屋 義正 様

平素から我が国の防衛政策と自衛隊の活動に対して深いご理解を寄せられ、三軒屋駐屯地に対しご支援、ご協力をいただいた方々に、駐屯地司令から感謝状が贈呈されました。

三軒屋駐屯地は来年、創立70周年という大きな節目を迎える。これまで以上に頼られ、愛される駐屯地であるよう日々精進していく所存だ。

駐屯地司令から 感謝状

夏の定番 町内の方々と盆踊り

三軒屋駐屯地は8月7日、駐屯地周辺の町内会と合同でふれあい納涼盆踊りを開催した。

当日の最高気温は37度を超えており、誰もが「夕方には涼しくなるのか?」「熱中症にならないか?」と心配していたが、盆踊りが始まる頃にはすっかりと過ごしやすくなっていった。そんな涼しくなった気温に反して、三野

ことも太鼓連の力強く活気のある太鼓演奏や津島八朔踊り保存会の優雅で伸びやかな八朔踊りによって会場のボルテージはどんどん上がっていった。その後、岡山理科大学ダンスサークルによる



理大ダンスサークルMod-kiD(モズキッド)

パフォーマンスが行われ、会場の盛り上がりは最高潮を迎えた。

また、今年は施設隊による大人気の「お化け屋敷」が復活し、ご来場の方々を楽しませた。



お化け屋敷は閉会するまで終始長蛇の列であった。

ファイナレを飾ったのは恒例のナイアガラの花火だ。ナイアガラは仕掛け花火の一種で、ワイヤーに無数のランスタという細い筒に入った花火を吊り下げ、その下を連火線でつなげたものだ。地上数メートルの上に張られた一連の仕掛けに、連火線によって点火されるとそれぞれのランスから煌めく火の粉が滝のように流れ落ちる。その姿はまるでナイアガラの滝のように豪快



水面に映るナイアガラの花火

で美しいことからナイアガラと名前がついたそうだ。夏の風物詩をぎゅっと詰め込んだこの盆踊り。
今回参加を見送った方も次回はぜひ訪れていただきたい。きっと、いい夏の思い出になるだろうから。

新着任部隊長の紹介

令和6年8月1日付で着任された部隊長を紹介します。
第104施設直接支援大隊
第2直接支援隊長

1等陸尉 鈴木 卓



【出身地】秋田県秋田市
【趣味】バスケットボール

馬鹿らしいこと

東京都新宿区、いまは防衛省や市ヶ谷駐屯地がある地区には、むかし大日本帝国陸軍の将校(現在で言うところの幹部自衛官)等を養成するための「陸軍士官学校」が存在していた。

そこでのエピソードをひとつばかし紹介する。

洗濯物を干している最中に、雨が降り始めると、気づいた生徒が外



に出て取り入れる。このとき自分のものから取り入れるような生徒は誰一人いなかった。

関西補給処 射撃競技会 優勝

支処は7月1日〜4日の間、令和6年度関西補給処射撃競技会に参加した。

この競技会は隊員たちの射撃技能の向上を図り、士気の高揚と団結の強化を目的として実施され、支処は小銃射撃・団体の部で見事優勝を飾った。



決して命令されてそうしているわけではなく、日々の生活の中で自分より他の者を優先することが自然と身についていたのだ。

これを驍(勇)というのはいささか大袈裟かもしれない。自分よりほかの人を優先することが当然とは、なんと馬鹿らしいことだと笑う人もいるかもしれない。けれど彼らには、「自分のものは濡れていても、自分が我慢すればいいし、また干せばいい。けれど、戦友のものを気付いていながら濡らしてしまうのは申し訳ない」それだけの理由だ。

陸軍と自衛隊は違う。ただ、こういった思いや教えを継承し、大事にすることが先人たちを尊び偲ぶ行いに繋がるのだろうか。



盆踊り 8月
津島八朔踊り保存会



<施設隊> 8月
フアジアーノ岡山イベント支援



<施設隊> 8月
幹部候補生試験練成



<施設隊> 9月
#2 検閲隊容検査

フオトニュース



<支処> 9月
新隊員後期教育修了式



<支処> 9月
コンテナパッキング訓練



<記念行事> 10月
第13音楽隊



部隊配置されて



直支隊
1等陸士
平山 拓哉

私は、十月一日付をもって、第二直接支援隊に配置されました。

私は施設科という職種を選び、後期では施設基礎作業を学んできました。ロープの結び方、その中でも特に十字結びを覚えしました。他に爆破や漕舟など様々な訓練をしてきました。

一つ一つの訓練が難しくとても大変でした。私の部隊は施設作業ではなく施設器材の整備をする部隊ですが、整備以外にもいろいろな経験をしたいです。

まだ何もわからないので、まずは先輩の名前を覚える所から始め、たくさんの人とコミュニケーションを取りながら、わからないことはどんどん聞いて自分のものにしていきたいと思えます。そして部隊で必要とされる人材になりたいと思います。



現地で浴びる
最高の体験



基通隊
3等陸曹
尾辻 樹

私はモータースポーツ観戦が趣味で、その中でも自動車レースの中では最高峰と言われるSUPER GTというシリーズが一番好きです。

私はこれまでライブ中継でしか観戦したことがなかったのですが、三軒屋駐屯地に配属になりついに岡山国際サーキットに現地観戦に行くことができました。

現地では、映像で感じることのできない燃料やゴムの



UNTPP・能力構築支援合同仕行会



匂い、恐ろしい速度と轟音で通過していく競技車、私のスマホで撮ったフェンス越しの写真では全く伝わりませんが現地では最高の体験ができました。

施設隊は今冬ふたつの国外派遣活動に参加する。11月2日に合同仕行会が行われ派遣隊員たちは決意表明をした。

概要は以下の通り。

UNTPP (日韓豪合同)

派遣期間 11月7日～12月21日

派遣場所 カンボジア

派遣人員

施設隊長 山下2佐 以下20名

能力構築支援

派遣期間 12月17日～2月3日

派遣場所 カンボジア

派遣人員

施設隊 宮地3尉 以下15名

祝
定年退官

施設隊
陸曹長 石田 直温
令和6年10月8日付

支 処
陸曹長 堀 桂三
令和6年10月19日付

NHK(岡山放送局)のもぎたて内の「最後のおつかれさまでした」に支処堀曹長が取材を受けた。このコーナーは退職日の1日に密着するミニドキュメンタリーだ。



取材を受ける堀曹長

振り返り、思いを馳せているようだった。最後は堀曹長らしく、「3日後からは新しい仕事だ!」と笑って駐屯地を後にした。放送は11月下旬の予定だ。

仕行会の様子



UNTPP(国連三角パートナーシップ・プログラム)▶
国連・支援国・要員派遣国の三者が互いに協力し、PKOに派遣される要員の訓練や必要な装備品の提供を行う協力枠組み

能力構築支援▶平素から継続的に安全保障・防衛関連分野における人材育成や技術支援などを行い、支援対象国自身の能力を向上させることにより、地域の安定を積極的・能動的に創出し、グローバルな安全保障環境を改善するための取組